

平成25年 4月11日

利用学習計画書

仙台市立鹿野小学校  
担当 第6学年 前川 豊明

- 1 ねらい  
展示を見学したり，勾玉作りを体験したりしながら，縄文人の知恵と心を知る。
- 2 評価  
自分が関心を抱いた縄文人の知恵や心について，資料や体験から学び取ることができたか。
- 3 学習活動について  
総合的な学習の時間（2時間）「日本の歴史を学ぶ」  
社会（2時間）「縄文のむらから古墳のくにへ」
- 4 事前指導  
探検ノート（縄文の森広場からいただいたもの）と社会の教科書を資料として，自分が特に調べたい項目を選ばせ，校外学習のしおりにまとめさせた。
- 5 当日の指導（活動）内容  
(1) 見学学習  
・復元住居・遺構表示等の野外展示及び館内の展示見学を予定  
（館職員やボランティアの方の説明を聞きながらグループ学習〈探検シート利用〉）  
(2) 体験学習  
・勾玉作り
- 6 当日の交通手段  
市交通局のバス（増発便）
- 7 事後指導  
感想の記述→グループ発表会

平成25年 4月19日

## 利用学習報告書

仙台市立鹿野小学校  
担当 第6学年 前川 豊明

### 1 事後指導について

#### (1) 実施日

- ・ 平成25年 4月11日(木) 1～4校時

#### (2) 主な内容

- ・ 総合的な学習の時間(2時間)「日本の歴史を学ぶ」
- ・ 社会 (2時間)「縄文のむらから古墳のくにへ」

### 2 送付する資料

- (1) 児童生徒の学習後の感想(10名分)
- (2) 教師の感想等(1点)

## 児童生徒の学習後の感想

- ・ 竪穴住居は、けっこうがんじょうに作られていそうだったけど、中はとても暗かった。窓がなかった。
- ・ 竪穴住居の中は暗かった。昔の人は今の人より目がよかったのだろうか。
- ・ 竪穴住居の木が、つるつるしていた。（くりの木）中は真っ暗で通気性が悪そう。中には石とかがあったが、じめじめしていた。
- ・ 竪穴住居の中は、すごく暗かった。けむりのにおいがすごくて、窓がなかった。
- ・ 竪穴住居の中はすごく真っ暗で、木とひもと石、砂などしかなかった。ちょっとせまく感じた。
- ・ 竪穴住居は意外としっかりできていた。そして木がびっしりと並べられていて、ひもでしっかり結んであって「縄文人ってすごい！」と思いました。1カ所だけ光があるところがあった。
- ・ 縄文人のことをいろいろ知ることができた。また行きたいと思ったし、勾玉作りもおもしろかったです。
- ・ 勾玉の石がつるつるしていて気持ちよかった。石がいっぱいあってすごかった。「昔の人は、すごい生活をしていたんだなあ。」と思った。
- ・ 模型を見たり、竪穴住居の中に入ったり、探検しておもしろかったです。
- ・ 縄文人は、小さいイノシシの子を育てていて、やさしいなあと思った。

## 教師の感想

- ・ 6年生になってすぐの校外学習だったので、歴史学習の導入として行った。児童は、ジオラマや縄文人が使っていた様々な道具を見ながら、食べ物など自分たちの暮らしとの違いや当時の人々の知恵に興味津々の様子だった。また竪穴住居の中に実際に入って見たことで、大まかな作り方や長持ちさせるための工夫を学び、今の生活の快適さを再確認したようだった。見学終了後の勾玉製作体験では、多くの指導員の方々にきめ細かくアドバイスをいただきながら、時間いっぱいまで集中して取り組む児童の姿が見られた。物作りの楽しさというのは、いつの時代も変わらないのだと感じた。教科書だけではあまり詳しく知ることができない縄文時代のことを、見学や体験を通して詳しく知ることによって、歴史学習に対する関心も高まったと思う。お世話になった職員の方々に感謝したい。